

経営一転語 34 工程管理の意味は？

工程管理は優れた手法ではありますが、「工程管理とは、内部管理の手法であり、経営の中の一部で、工程管理だけをすれば、経営が向上するというものではない。工程管理にも限界がある。」ということを経営者として認識しておいてほしいと思います。

そして、工程管理でできることは、ただ1つしかありません。

それは、「仕事の進み過ぎや遅れを少なくすること」だけであり、「それ以外は何もできない」ということを認識しておくべきです。

工程管理は、それ単独では生産能力を高める力はありません。もともと持っている「生産能力」に近づけることができるだけなのです。

では、生産能力を高める方策は何かと言うと、次の3つの手を打つことです。

1. 設備・人員を増加する。
2. 生産の時間を長くする（超過勤務）。
3. 能力の高い設備・加工法・作業者を採用する。あるいは教育により能力を向上する。

この3つしかありません。

工程管理はしよせん「内部管理の手法なのだ」と限界を知っておくことが重要です。

そして、工程管理は、好況期でどんどんものを作らなくては間に合わないという時期には有効ですが、不況期でもものが売れなくなる時代には、いくら工程管理をして内部の効率化を図っても、ものが売れないのではしかたがありませんから、工程管理よりも、外部向けの活動である「営業力の強化」を図るべきなのです。

<演習課題>

1. 内部にばかり目を向けずに、外部に目を向けましょう。